



2025年1月10日

各位

会社名 ミニストップ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤本 明裕
 (証券コード 9946 東証プライム)
 問合せ先 執行役員経営管理本部長 本橋 直樹
 TEL 043-212-6472

2025年2月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年4月10日に公表した2025年2月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年2月期 連結業績予想の修正 (2024年3月1日～2025年2月28日)

通期	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,000	1,500	1,800	400	13.79
今回修正予想 (B)	90,000	△2,300	△1,900	△2,500	△86.18
増減額 (B-A)	0	△3,800	△3,700	△2,900	
増減率 (%)	0	-	-	-	
(参考) 前期業績 (2024年2月期)	79,056	△609	10	△468	△16.14

2. 業績予想修正の理由

本年度、国内の物価高騰が継続するなか、ミニストップ単体ではファストフード商品について、店内できたての米飯やスイーツといった高付加価値商品の品揃え充実に取り組み好調に推移しました。一方、コンビニエンスストア商品では、お手頃価格の品揃えの拡充をはじめとした価格政策を推し進めましたが、お客さまの買い合わせを促す施策および価値型商品導入の遅れが発生し、既存店日販および売上総利益率ともに計画未達となりました。また、人件費をはじめとした経費の増加により事業経費が計画を超過し営業利益が計画を下回りました。

ベトナム事業においては、高付加価値の店内焼ききたてパンの全店展開や好調の店内加工ドリンクを訴求するドリンクカウンター改装を推し進める一方、出店計画が未達となったことに加え、価格訴求を含め変化するお客さまの消費行動に対応するMD政策の確立およびモデル構築の遅れにより営業利益が計画を下回りました。

2023-2025中期経営計画最終年度となる2025年度については政策の優先順位を構造改革ヘシフトし、本年度計画未達の要因となった経営指導改革および人財対策をはじめとしたマネジメントシステム改革の完遂とベトナム事業の再生に取り組む計画です。

(注) 業績の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上